



2015・4・15

第 202 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 草の根からの世論高め 戦争立法はねかえそう

### 月内の与党合意へ動き急ピッチ

2015 年度予算の成立を受けて、「戦争立法」をめぐるたたかいが後半国会の最大の焦点となってきました。

自民・公明の与党は 14 日、安保法制整備に関する与党協議を再開しました。基本点ではすでに 3 月 20 日に合意しており、今後週 2 回ペースで協議をすすめ、統一地方選挙後半戦終了後の 4 月 28 日には最終合意にこぎつけたいとしています。そして連休明けから審議を開始、会期を大幅に延長してでも今国会中の成立を図りたいとしています。

一方、「戦争立法」を急ぐ背景となっている日米防衛協力の指針（ガイドライン）再改定の作業も着々とすすめられており、安倍首相の訪米の手土産とするため、4 月 28 日の日米首脳会談前の 4 月 27 日には正式合意する方向で調整をすすめています。ここでもすでに 4 月 8 日の中谷防衛相とカーター米国防長官のあいだで、自衛隊がいつでもどこでもアメリカの戦争に参加していく

ことが基本合意されています。

全国の九条の会が草の根から「戦争する国許さない」の世論を高めることがもとめられています。

### 奥平さんの志受けつぐ会に 900 人

「九条の会」呼びかけ人で憲法研究者の奥平康弘さんの「志を受けつぐ会」が 4 月 3 日、東京都調布市で開かれました。大江健三郎（作家）、澤地久枝（作家）、杉原泰雄（一橋大学名誉教授）、樋口陽一（東京大学名誉教授）さんら奥平さんゆかりの人々がよびかけたもので 900 人が参加しました。

「会」では地元の調布九条の会「憲法ひろば」有志による「アメイジンググレイス」のコーラス、1 月におこなわれた地元集会での奥平さんの最後の映像が紹介がされた後、参加した発起人がつぎつぎと志を受け継ぐ思いを語りました。つづいて奥平せい子夫人が、「君はいま平和についてどう思っている」という奥平さんの問いかけがあったことなどを紹介しました。

## 訴えに高まる町の反応

【札幌市西区】 西区の「琴似」「山の手」の両9条の会は3月19日、地下鉄琴似駅前で手づくりの横断幕やプラカードを掲げ、安倍政権の『戦争する国づくり』の暴走をやめさせよう」と訴えました。2歳の男の子を乗せたベビーカーを押す母親は「この子のために憲法を守ることは大事」と語り、若い女性の2人連れは「彼氏が行くかもしれませんね」などといって署名しました。

【堺市西区】 西区の福泉・鳳地域「憲法9条の会」は毎月の世話人会議で安倍政権の暴走について論議、連絡会としては、当面次の内容の活動を確認していますが、「旅先で見つけた『憲法9条を守ろう』の看板に励まされた」、「私たちも設置しよう」などと話し合っています。毎月の「9の日」宣伝では「安倍首相は怖い」と口々に語りほとんど署名してくれるといいます。

## やったぜ！「市議会意見書採択」

3月23日に開かれた日光市議会本会議で、「にっこう九条の会連絡会」が去る12月議会から継続審査となっていた『戦争放棄を定めた憲法九条を守るよう国に求める意見書』が、全会一致で採択されました。

これは、足尾、日光、今市の九条の会が力を合わせ、地道な活動を展開し総務委員会でも意見陳述するなどしてきた成果であり、栃木県内初の快挙です。

今、集団的自衛権行使に関わる諸法律の“改正”により、解釈改憲が国会で論議され、自衛隊を海外派遣して、「殺し、殺される」状況が生まれ、来年夏以降の「憲法改正」の国民投票をもくろんでいます。こう

## 自衛隊員に「戦死」はない！？

「戦争する国」づくり反対の国民の運動は、現場の自衛隊員の心理にもさまざまな影響を及ぼしています。自衛隊制服組のトップ先崎一（まっさきはじめ）さんは、イラク派兵の当時を語っています（4月3日、朝日新聞）。

「大切なのは、自衛隊派遣の大義名分をはっきりさせることです。困っているイラク人の復興支援のためだと。もちろん日米同盟や国益、国際社会の有力な一員としての責務などありますが、それだけでは危険な地域に派遣される隊員や家族は納得しないのです。派遣の直前、報道各社の世論調査では、すべて『反対』が上回っていました。焦りましたね」

「戦死、戦闘死など殉職隊員に対する名誉の問題について、国として何らかの対応を考えてほしいと政治家に要求もしました。名誉は金に換えられません。しかし、海外で戦闘はしないので戦死は認められず、事故死扱いだと言われました」

した、平和憲法をめぐる緊迫した状況の中、国際観光都市・非核平和宣言都市である、日光市に於いて『平和憲法を守ろう』との強いメッセージを全国に広められることは、大きな意義があると思います。

「連絡会」ではこの意見書を広く市民の中に広げると結び付けて、9条を守る署名運動を広げることを確認しています。「にっこう九条の会連絡会」ニュースから）